

氏名	大 原 信 哉
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲 第 1206 号
学位授与の日付	平成 6 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医学研究科病理系病理学 (二) 専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	A novel monoclonal antibody specifically reactive with human T-lymphotropic virus type-II (HTLV-II) envelope protein (ヒト T リンパ向性ウイルス II 型エンベロープ蛋白特異マウス単 クローン抗体の作製)
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 新居 志郎 教授 岡田 茂

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ヒト T リンパ向性ウイルス II 型 (HTLV-II) は同 I 型 (HTLV-I) と類似のヒトレトロウイルスであるが、この 2 種のウイルスの相同性が高く鑑別が困難であったこともあり、その病原性をはじめ HTLV-I に比べ未だ不明な点が多い。今回我々は、HTLV-II エンベロープ糖蛋白 gp46 のアミノ酸第 171-196 番に相当する合成ペプチドを免疫原として、HTLV-II 特異マウス単クローン抗体 (N5.4.4) を作製した。N5.4.4 抗体は IgG₁k 型で、細胞塗抹材料による蛍光抗体法により、検索に用いた HTLV-II 感染細胞株 (Si-II A, CR-II A-1, AS-II A) のいずれにも反応したが、HTLV-I 感染細胞株 (MT-1, MT-2) および種々の HTLV 非感染細胞株には陰性であった。ウエスタンブロット法では、この抗体は HTLV-II の gp46 に反応したが、HTLV-I のそれとは反応しなかった。またフローサイトメトリーによる検索では HTLV-II 産出細胞の表面を認識することが示された。この抗 gp46 抗体は、HTLV-II 特異性をもつものとしては初めてのものであり、HTLV-II 研究において有用なものと考えられる。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査の結果の要旨

本研究は、HTLV-IIのエンベロープ糖蛋白gp46の一部に相当する合成ペプチドを免疫原として、HTLV-II特異的なマウス単クローン抗体を作製したものである。HTLV-II特異的な抗体についての最初の報告であり、重要な知見を得たものとして、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。